

安芸区民文化センター サロンコンサート

Frühlingsanfang

～ 立春のあいさつ～



重本 ゆうき
(sop.)



淀川 萌
(sop.)



小林 知世
(pf.)

～PROGRAM～

*中山晋平 / 砂山

*岡野貞一 / 朧月夜

*シューマン / 幸福 Op.79-15

*ドヴォルザーク / オペラ『ルサルカ』より「月に寄せる歌」

*ドリープ / オペラ『ラクメ』より「花の二重唱」ほか

2026年 **2月20日** (金)

①14:00開演 / ②18:30開演

(開場は各回 開演の30分前) 【2回公演】

安芸区民文化センター (スタジオ)

(広島市安芸区船越南3丁目2-16)

チケット取り扱い 安芸区民文化センター窓口
お問い合わせ 安芸区民文化センター
TEL/082-824-1330 FAX/082-824-1337
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/aki-cs/>
休館日 / 月曜日 (祝日の場合は開館)、年末年始 (12/29～1/3)

入場料 一般 : 3000円
23歳以下: 1500円
(当日+500円)

オンライン予約もできます



※全席自由 ※消費税及び地方消費税含む

主催 公益財団法人広島市文化財団 安芸区民文化センター、重本ゆうき

後援 広島市、広島市教育委員会、府中町教育委員会、海田町教育委員会、熊野町教育委員会、坂町教育委員会、
中国新聞社、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、ちゅピCOM、
FMちゅーピー76.6MHz、FMはつかいち76.1MHz

2025年の春に福岡で～春のあいさつ～を、
そして初夏には広島で～初夏のあいさつ～を行い
“あいさつシリーズ”は今回で3回目となります。

お馴染みの作品だけでなく、初めて耳にするものもあるかもしれません。
その中で “なんだか好きだなあ” “ほっこりするなあ”と心の琴線に触れるもの。
もしくは “意外と悪くないかもしれない” “面白い” そんな新しい出会いや発見がありますように。
こころよりお待ちしております。

PROFILE

重本ゆうき (Sop.)

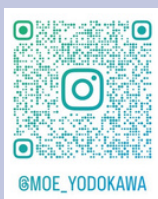
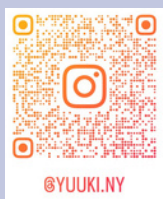
福岡県出身。エリザベト音楽大学に特別奨学生（全額免除生）として入学。同大学卒業後、音楽学部4年次から大学院の授業科目の履修が認められ、合計5年で「学士」「修士」2つの学位を取得できる制度、5年プログラム生としてエリザベト音楽大学大学院1年で修了。在学中より「メサイア」のソリストをはじめ、大学院新人演奏会等に出演。第42回中四国新人演奏会、第87回読売新人演奏会等の演奏会に出演。第38回広島新人演奏会にて優秀演奏者選ばれ、広島交響楽団(指揮: 鈴木織衛氏)と共演。翌年に特別演奏者として同演奏会に出演する。
第12回藤井清水音楽コンクール優秀賞。第70回日本学生全国音楽コンクール北九州大会第2位。
これまでに声楽を櫻井華乃子、折河宏治、枝松隆、淀川萌の各氏に師事。現在、東広島みらい合唱団ボイストレーナー。林音楽教室講師。あきクラシックコンサート実行委員会委員。

淀川 萌 (Sop.)

広島県三次市出身。広島音楽高等学校卒業。在学中に広島県代表となり全日本滝廉太郎声楽コンクール優良賞を受賞する。
国立音楽大学声楽科入学し2006年9月よりウィーンへ渡欧。2010年ウィーン・プライナー私立音楽院に在籍。2012年ベルヴェデーレ国際オペラコンクール・アテネ予選を通過しウィーンで世界大会に出場。同年、三次芸術文化賞を受賞。ヒロシマ平和創造基金奨学生（中村音楽奨学生）に選ばれる。
2016年、2017年、2018年、2019年ベルヴェデーレ国際オペラコンクール日本代表に選ばれウィーン・モスクワ・リガで開催された世界大会に出場する。
これまでに発声を福岡まゆみ、オルガ・フルラ・コロ、エドヴィーナ・パルツァー、クルト・ヴィドマーの各氏に、フランス歌曲をスーザン・マノフに師事。現在、みよしKIRIRI児童合唱団のボイストレーナーを務める傍ら、後進の育成や指導なども行っている。三次音楽家協会正会員。

小林知世 (Pf.)

広島市出身。4歳よりピアノ、作曲、即興演奏を学ぶ。
エリザベト音楽大学、同大学院修士課程を首席で修了。
同大学院博士後期課程を修了し、2015年、Paul Wittgenstein
《左手のためのピアノ教則本について》で博士号(音楽)を取得。
在学中、定期演奏会のソリストとしてエリザベト音楽大学オーケストラ(指揮: 秋山和慶氏)、第140回日演連新人演奏会にてグリーグ作曲ピアノ協奏曲を広島交響楽団(指揮: 小田野宏之氏)などと共演するほか、
第16回レクイエム イン ヒロシマにて、プロコフィエフ作曲ピアノ協奏曲第4番(左手のために)を広島センチュリー管弦楽団(指揮: 齋城英樹氏)と共演。
第77回読売新人演奏会をはじめ、ドイツや東南アジアなどの音楽祭に招待演奏者として参加。ベルリンにてG.サヴァ氏に学ぶ。サンタ・イザベル音楽大学にてマスタークラスを行うほか、室内楽やアンサンブルピアニストとして国内外の著名演奏家と共演している。2020年8月サクソフォン奏者福田ひとみ氏と初CDアルバム「Sonata」をリリース。
これまでにピアノを谷口博子、松村英臣、前田麻紀、岡本えり、高良芳枝、柴田美穂、J.ルヴィエの各氏に、作曲・対位法を平井正志氏に師事。
現在、福山平成大学非常勤講師、エリザベト音楽大学非常勤副手、付属音楽園講師。TA-YACピアノスタジオ講師。広島アーティスト協会正会員。



JR 海田市駅より広島方面へ 約400メートル (徒歩5分)

※広島駅から海田市駅まで約10分

〈バス〉

○広島バスセンター方面→海田バス停下車 約100メートル (徒歩1分)
広島バス: 熊野方面【40 広島駅・向洋経由】※主な行先 熊野方面
芸陽バス: 海田・瀬野方面【40 広島駅・向洋経由】

駐車場に限りがありますのでご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

また違法駐車や近隣のお店等への迷惑駐車は絶対におやめください。